青森市地域包括支援センター

みちのく便り

平成 28 年 1 月発行第 22 号

皆様、明けましておめでとうございます。昨年中は地域の皆様には大変お世話になりました。

今年は、青森市で地域包括支援センターの基幹型の設置や各圏域の規模の見直しがございます。地域包括支援センターみちのくの活動圏域については範囲が拡大することになります。それに伴い活動の機会も増え地域の皆様と接する機会も多くなると思いますので今後もぜひご協力をお願い致します。

また、２年目となった認知症カフェが安定して定期的開催されており、介護予防教室（介護予防の学校）も６回開催できました。「地域づくり」や「地域連携」をテーマに継続し、その中でも「ボランティア活動」等の役割の機会等を地域の皆さんと一緒に考えて活動をしていきます。

本年も良い年になるよう職員一丸となって頑張っていきますのでよろしくお願いします。

P2　ケヤグー運動の会クリスマス会
P3　平成27年12月開催 かだるカフェ
P4　認知症ケアパス 認知症地域支援推進員

社会福祉法人　みちのく白寿会
青森市地域包括支援センターみちのく
〒030-0901　青森市港町３丁目６－３
TEL　017-765-0892　　FAX　017-765-0893

発行責任者
理事長
奈良岡　均
編集スタッフ
佐々木　央　　久慈　淳子　　米内山　幸治　　工藤　誠之　　鳥谷部　奈緒子

ケヤグー運動の会
クリスマス会

平成27年12月16日（水）に行われた『みちのく青海荘クリスマス会』に今年も参加しました。『ケヤグー運動の会』メンバーは昨年に引き続き男女混声合唱団となり、ギターの音にのせてクリスマスソング、馴染みのある歌謡曲を4曲2ステージ披露しました。入所されている方々より暖かい拍手・アンコールのお願いがあり、皆さん一足早いクリスマス会を楽しんで頂きました。

ケヤグーの皆さんお疲れ様でした！

来年もぜひよろしくお願いします。

平成27年 12 月 19 日今年度5回目のかだるカフェを花園にあるドッグカフェビタミンで開催しました。当日は20名の方が参加してくださいました。青森明の星短期大学の先生と学生が**とんちクイズ**を出して参加者を楽しませました。

かだるカフェの様子

明の星短期大学の先生と学生さん、当日はありがとうございました！

青い山脈体操、合唱等も行いました。

脳の健康チェックも随時行っております。

とんちクイズ

なんと読むでしょう？？

①

う　う
う　う

②

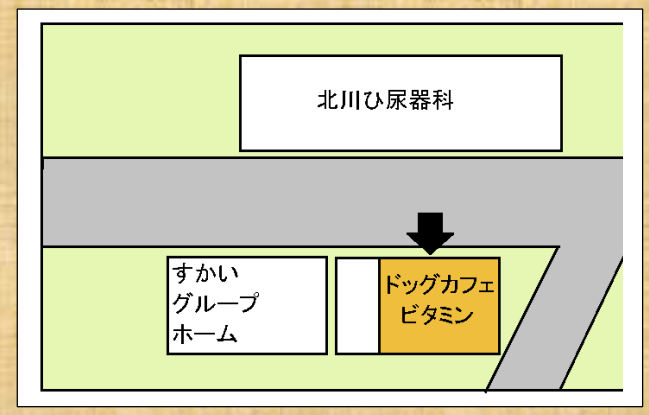
ままま

③

3　3　3
3　お　3
3　3

※正解はページ下部にあります

次回は2月20日（土）
10時～12時開催予定です。
すかいグループホーム隣
ドックカフェビタミン



（正解）① うし　② まんま　③ おまわりさん

1. 青森市認知症ケアパスについて

　昨年 12 月に各家庭に配布されたので、お手元にあるかと思いますのでご覧ください。『ケアパス』の語源は carepathway という「路線」、「道筋」「流」からきています。（年齢相応の物忘れ、いや、ひょっとすると認知症かも）と心配になった時「迷わず相談」し、「ためらわず受診」し治療につなげる。認知症について正しく理解し地域で温かく見守る。また認知症になっても自分らしく暮らし続けていくことができるよう適切に対応できる体制が認知症ケアパスです。

2．認知症地域支援推進員について

　認知症の相談窓口として地域包括支援センターや高齢者支援課、担当のケアマネジャーがあります。青森市の11か所ある地域包括支援センターではそれぞれ１人ずつ研修を受けた認知症地域支援推進員が配置されています。

　地域包括支援センターみちのくでは看護師の久慈が担当しています。包括支援センターではゲーム感覚でできるアイパッドを用いたり、聞き取りによる長谷川式、MMSEという認知症の簡易検査等を行う事もできます。来所・訪問どちらでも応じる事ができますので連絡をお待ちしています。

認知症地域支援推進員として担当したばかりです。これから認知症の方やその家族、地域の方と共に歩んでいきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。